

ニューセーフティロード〈張出歩道〉

NEW

茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨 長野 静岡

歩行者の安全を守る張出歩道

●特長

1.安全性

張出床版により道路の路肩に安全な歩道が確保されます。
底版コンクリートの打設により、隣接する製品や基礎との密着が図られ、底版上の土砂等の重量を含めて、外力に抵抗して安定します。

2.施工性

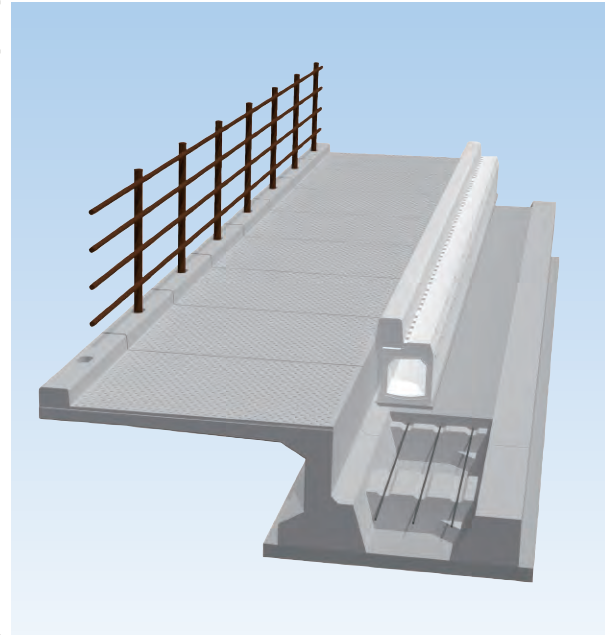
ボルトによる高さ調整が行え、基礎コンクリートと底版コンクリートの同時打設が可能なため、工期の大幅な短縮と交通障害の軽減が図れます。

3.適応性

現場条件に合わせて張出し長さや製品高さの選定が可能です。
製品高さの調整により、様々な路肩構造物に対応できます。
片持式の張出し構造のため、河川や水路沿いの場合でも流水断面を阻害することなく歩道拡幅が行えます。

4.経済性

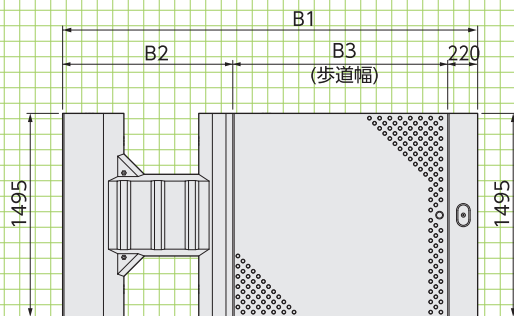
省力化による人件費、工期短縮による共通仮設費などトータルコストの低減が図れます。



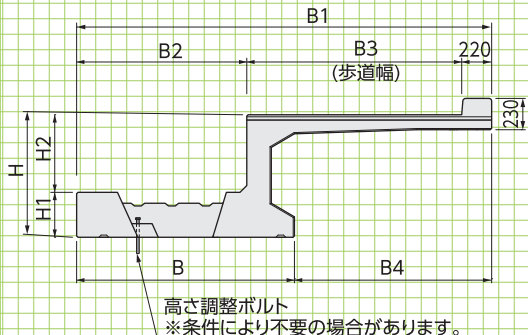
基本形状図

形状・寸法
重量表

■平面図



■側面図



■寸法・重量表

呼 称		H	B	B1	B2	B3	B4	H1	H2	参考質量 (kg)
NSR-10	Min	750	950	1670	650	800	720	280	470	1310
	Max	1750	1350	2070	1050	800	720	280	1470	2200
NSR-15	Min	800	1300	2470	950	1300	1170	300	500	1940
	Max	1800	1700	2870	1350	1300	1170	300	1500	3040
NSR-20	Min	900	1600	3270	1250	1800	1670	330	570	2570
	Max	1900	2000	3670	1650	1800	1670	330	1570	3715
NSR-25	Min	1000	1900	3970	1450	2300	2070	380	620	3425
	Max	2000	2300	4370	1850	2300	2070	380	1620	4715
SR-30		1400	2100	4770	1750	2800	2670	1000	400	4893

※B3=2800はセーフティロードにて対応いたします。
※水抜き穴については、各営業担当までご一報ください。
※設計条件により、高さや底版長を変更して製造することが可能です。
※高欄パイプのピッチは1.5mまたは3.0mを標準とします。
※雪荷重の検討も可能です。(除雪車荷重対応の規格もあります)
※安定計算及び施工断面図等の作成がございましたら、各営業担当までご一報ください。
※製品の形状寸法は、予告なく変更をすることがあります。

参考施工図

管渠類

地下雨水貯留施設

擁壁類

標準施工断面図

参考歩掛

側溝類

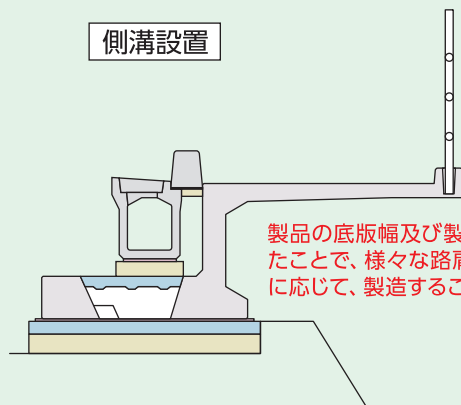
道路関連

景観関連

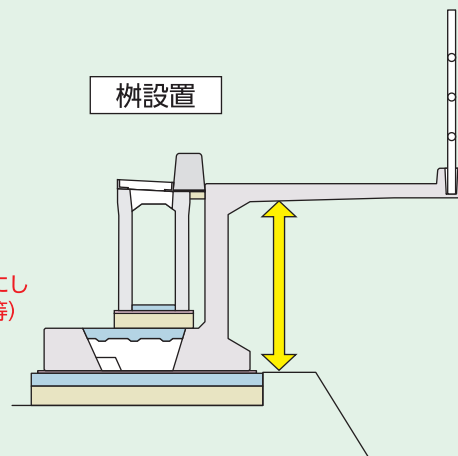
その他

参考資料

側溝設置

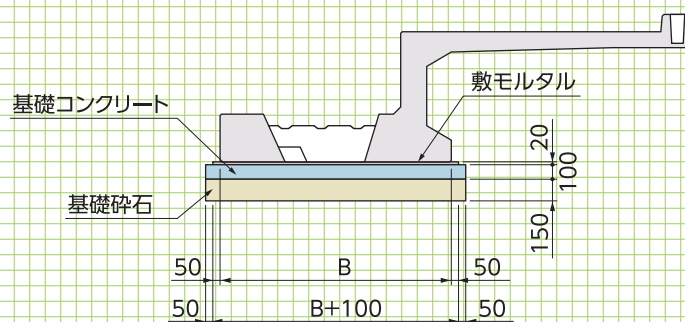


柵設置



製品の底版幅及び製品高を可変式構造にしたことで、様々な路肩構造物（側溝、柵等）に応じて、製造することができます。

■標準施工断面図



※道路横断勾配には基礎形状で対応します。

■参考歩掛

(10m当り)

工 種	名 称	規 格	単位	NSR-10	NSR-15	NSR-20	NSR-25
製品部材	ニューセーフティロード	L=1.5m	個	6.67	6.67	6.67	6.67
据付工	世話役		人	0.22	0.26	0.26	0.33
	特殊作業員		人	0.22	0.26	0.26	0.33
	普通作業員		人	0.67	0.79	0.79	1.00
	ラフテレーンクレーン		日	0.22(16t吊)	0.26(16t吊)	0.26(25t吊)	0.33(25t吊)
	諸雑費率		%	16.00	18.00	18.00	20.00
間詰工	コンクリート工	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m^3	0.72	1.10	1.64	2.13
	鉄筋工	D13	kg	20.68	20.68	31.01	31.01
基礎工	コンクリート工	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ $t=100\text{mm}$	m^3	1.15	1.50	1.80	2.10
	型枠工		m^2	2.00	2.00	2.00	2.00
	砕石工	C-40 $t=150\text{mm}$	m^2	11.50	15.00	18.00	21.00

(注)

- 上記代価表は、平成24年度国土交通省土木工事積算基準「擁壁工」プレキャスト擁壁据付歩掛を参考として作成した独自歩掛であり、現場条件に応じて施工重機の見直しや歩掛の割り増しなどを行ってください。
- 本歩掛は、製品本体をフラットに据え付けた場合の歩掛です。
- 基礎材料は地盤状態により増減してください。地耐力不足の場合は別途ご検討ください。
- 諸雑費は伸縮目地材、目地・均しモルタルなどの材料費であり、労務費及び機械賃料の合計額に諸雑費率を乗じた金額を計上してください。
- 本歩掛は標準規格寸法におけるものであり、底版幅や製品高が変わると歩掛も変わる場合があります。